



第34回テザー全日本選手権大会

日程	2019年10月19日(土) - 10月20日(日)
開催地	愛知県蒲郡市 豊田自動織機 海陽ヨットハーバー
主催	日本テザー協会
運営主体	愛知県ヨット連盟
協力	豊田自動織機海陽ヨットハーバー

帆走指示書 as 01, July, 2019

「NP」艇からの抗議の根拠とはならない。これは規則60.1(a)を変更している。

「SP」レース委員会から審問なしに、またはプロテスト委員会の審問により、スタンダード・ペナルティが課せられる。

1. 規則

1.1 本レガッタには、『セーリング競技規則』(以下、規則という)に定義された規則が適用される。

1.2 付則Pを適用する。

1.3 規則G3を次のとおり変更し適用する。

G3 チャーターまたは借用艇

レース公示、または帆走指示書に記載している場合、大会のためのチャーター艇または借用艇には、クラス規則に反している国を示す文字や他の参加者と重複しないセール番号を付けることができる。

1.4 規則87および、テザークラスルール解釈29に基づき、テザークラスルールを次のとおりに変更する。

C1.5 国を示す文字とセールナンバーは最低次の寸法でなければならない。

高さ:300mm、幅:200mm(1とIを除く)、太さ:50mm 隣接する数字の間隔はおよそ50mmでなければならない。

C2.2(O) シュラウドテンションを調整する19mmRCBシステムを装備することができる。

RCBシステムは以下の艀装品または同等品から構成される：

Ronstan RC11902 Cars

Ronstan RC11980 Track Ends

Ronstan RC1190 - 1.0 Track

Clamcleate CL268AN Cleats

Ronstan RF1850S Shackles

18mmの硬質の合金あるいはステンレスで、両側のトラック端から15mm以上伸びる長さの、ガンネル下の負荷分散用のサポートロッド

ガンネル下のサポートロッドは、どの方向にも17mm以上の直径であることを条件に、ワッシャーやナットを固定させるために、どの全長にわたって平らに表面加工されていても良い。

ネジの固定

RCBトラックとガンネル下のサポートロッドは前後両端が4分の1インチ(6mm)のネジで固定されていなければならない。他の中間の(1あるいは2本の)ネジは16分の3インチ(5mm)あるいは4分の1インチ(6mm)で良い。前端を持ち上げるパッキンは許可されていない。

計測

バウのUボルトあるいはサドルと前側のトラック端のネジ穴を写真のようにデッキレベルで計測した長さは、最小2125mm、最大2135mmでなければならない。

カーの移動範囲は140mmを超えてはならない。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、レガッタ・オフィス東側に設置された公式掲示板に掲示する。

3. 帆走指示書の変更

3.1 帆走指示書(以下、指示という)の変更は、それが発効する当日の9:00までに掲示する。

ただし10月20日のレース日程の変更は、19日の18:30までに掲示する。

4. 陸上で発する信号

4.1 陸上で発する信号は、レガッタ・オフィス南側の信号柱に掲揚する。

4.2 陸上で回答旗が展開された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を「30分以降」に置き換える。

- 4.3 「NP」「SP」陸上で音響信号1声と共にD旗が掲揚されるまで、艇は出艇してはならない。予告信号は予定時刻以前、またはD旗が掲揚された後30分以内に発せられることはない。

5. 日程

5.1 レース日程

10月19日 (土)	09:00-09:30	大会受付、登録
	-09:30	計測
	09:30	開会式、フリーフィング
	11:15	第1レース予告信号予定時刻 3レースを計画している
10月20日 (日)	08:30	フリーフィング
	10:00	その日の最初のレースの予告信号予定時刻 3レースを計画している
	16:00	閉会式

- 5.2 両日とも、その日の最初のレース終了後、引き続き次のレースを実施する。

- 5.3 10月20日は、13:30より後に予告信号を発しない。

6. クラス旗

白地に赤色のテザークラスの形象

7. レース・エリア

添付図1にレース・エリアの位置を示す。

8. コース

- 8.1 添付図2の見取り図は、レグの間の概ねの角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 8.2 予告信号以前に、レース委員会信号艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。
- 8.3 艇が4レグを消化する以前でのコース短縮は行わない。

9. マーク

- 9.1 マーク1, 2, 3p, 3sは、黒色数字入りのオレンジ色円筒形ブイとする。
- 9.2 スタート・マークは、スターボードの端にあるレース委員会信号艇と、ポートの端にあるレース委員会艇とする。
- 9.3 フィニッシュ・マークは、スターボードの端にあるレース委員会艇と、ポートの端にある黄色の円筒形ブイまたはレース委員会艇とする。
- 9.4 指示11.1に規定する新しいマークは、黒色数字入りの蛍光黄色円筒形ブイとする。

10. スタート

- 10.1 レースは、規則26を用いて、予告信号をスタート信号の5分前とし、スタートさせる。
- 10.2 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ色のスタートライン旗を掲揚しているポールと、ポートの端にあるスタート・マーク上にオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚しているポールの間とする。
- 10.3 スタート信号後4分より後にスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった』と記録される。これは規則A4を変更している。
- 10.4 その日の最終レースを除き、前のレースでOCS、UFDまたはBFDと記録された艇のセール番号を、次のレースの予告信号以前にスタート信号艇に掲示する。

11. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。

12. タイム・リミットとレースのターゲット・タイム

- 12.1 タイム・リミットとレースのターゲット・タイムは、次のとおりとする。

レースの タイム・リミット	マーク1の タイム・リミット	フィニッシュ ウィンドウ	レースの ターゲット・タイム
70分	20分	15分	45分

- 12.2 マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースを中止する。
ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している。
- 12.3 規則30.3、規則30.4が適用された場合、その規則に違反しなかった最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後に定められるフィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュしない艇は、審問なしに「フィニッシュしなかった」と記録される。
これは、規則35、A4、A5を変更している。

13. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、スターボードの端にあるフィニッシュ・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールと、ポートの端の黄色円筒形のフィニッシュ・マーク、またはフィニッシュ・マーク上にオレンジ色旗を掲揚しているポールの間とする。

14. 抗議と救済の要求

- 14.1 抗議書は、レガッタ・オフィスにて入手できる。
抗議および救済または審問再開の要求は、適切な締切時間内にレガッタ・オフィスに提出されなければならない。
- 14.2 抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。
- 14.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に、審問のことを知らせるため、抗議締切時刻後20分以内に通告を掲示する。審問はプロテスト・ルームにて、概ね受付順に始められる。
- 14.4 レース委員会またはプロテスト委員会による抗議の通告を、規則61.1(b)に基づき伝えるために掲示する。
- 14.5 規則42違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストは、掲示される。

15. 得点

- 15.1 シリーズの成立には、2レースを完了することが必要である。
- 15.2 4レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。
4レース以上完了した場合、艇のシリーズ得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

16. 安全規定

- 16.1 出艇申告と帰着申告は、チェックアウト/チェックインシステムを用いる。
- 16.2 「NP」「SP」各艇は、出艇前にレガッタ・オフィス前に用意されているリストにサインして出艇しなければならない。
- 16.3 「NP」「SP」帰着した艇は、帰着後速やかにレガッタ・オフィス前に用意されているリストにサインしなければならない。
その日の最終レース後のサインの締切時刻は、抗議締切時刻である。
- 16.4 「NP」レース委員会が危険と判断した場合、艇体放棄を含む強制救助を行う場合がある。
強制救助に対しては、艇からの救済要求の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している。
- 16.5 「NP」「SP」レースからリタイアする艇は、出来るだけ早くレース委員会に伝えなければならない。

17. 装備の交換

「NP」「SP」損傷または紛失した装備の交換は、テクニカル委員会の承認なしでは許可されない。
交換の要請は、最初の適当な機会にテクニカル委員会に行わなければならない。

18. 乗員の交替

「NP」「SP」乗員の交替要請は、最初の妥当な機会にレース委員会に対して行わなければならない。

19. 運営艇

運営艇の標識は、次のとおりとする。

運営艇	識別旗
レース委員会艇	「C」と白字で記された黒色旗
プロテスト委員会艇	「JURY」と白字で記された赤色旗

20. 支援艇

- 20.1 「DP」支援艇は、準備信号から全ての艇がフィニッシュもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発せられるまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。
- 20.2 「NP」「SP」支援艇は400mmX400mmより大きな白色の識別を掲げなければならない。

21. ごみの処分

ごみは、支援艇または大会運営艇に渡してもよい。

22. 無線通信

「DP」緊急の場合を除き、レース中の艇は、音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。

23. 賞

23.1 賞は次のように与える。

- 1) 1位から6位
- 2) マスター・クラス (乗員の合計年齢が80歳以上99歳以下) 1位
- 3) グランドマスター・クラス (乗員の合計年齢が100歳以上119歳以下) 1位
- 4) スーパーグランドマスター・クラス (乗員の合計年齢が120歳以上) 1位

23.2 年齢に関わる表彰は、実施されたすべてのレースにおいてそれぞれの要件を満たした場合に対象となる。クルーの年齢は大会初日の時点を基準とする。

23.3 主催者は上記以外の賞を設ける場合がある。

24. 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則4「レースをすることの決定」参照。

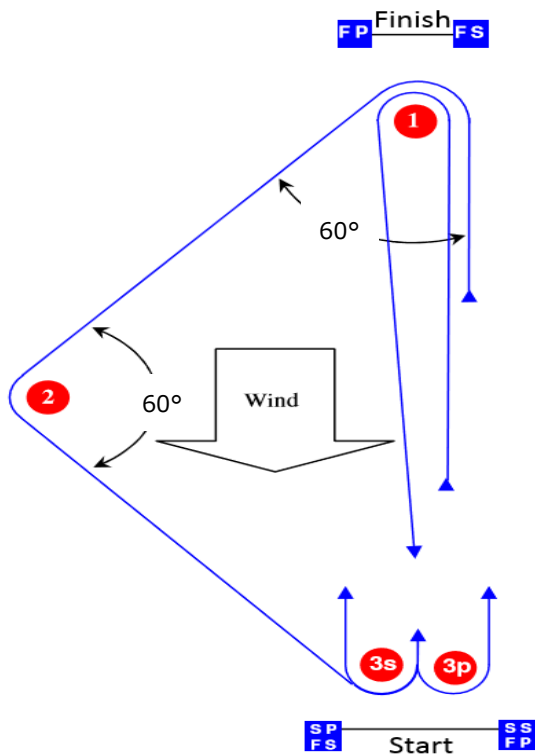
主催団体は、このレガッタの前後、期間中に生じた物理的な損傷または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任を負わない。

添付図1



レース・エリアは、N 34°47. 100 E 137°16. 500 を中心としたφ 1.4Nmのエリアとする。

添付図2



コース : Start - Mark1 - Mark2 - Mark3 - Mark1 - Mark3p/3s - Finish

三谷潮汐表

	10月19日 (土)		10月20日 (日)	
	月齢 20.4		月齢 21.4	
	日の出 05:59		日の出 06:00	
	日の入 17:13		日の入 17:11	
	満潮	干潮	満潮	干潮
時刻	08:34	01:56	09:16	02:39
潮位	239cm	53cm	218cm	70cm
時刻	20:46	15:12	21:48	16:00
潮位	169cm	72cm	163cm	81cm